

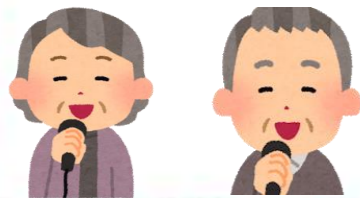
～元氣の出るエピソード～

病棟では、受け持ち患者様の担当が患者様とのコミュニケーションの時間を増やすように努力しております。

私がフロア担当の時は近づいてお話を聞きながら、おしぼりの仕分け作業と一緒にしています。失語症に近い患者様も、身振り手振りで真似をしながら手伝って下さいます。

ちょうど七夕様が近かった頃、七夕の話をしながら歌を口ずさんでみました。それまで『うん、ああ』としか発しなかった方が…『たたのはあ～たらたら♪』と、突然一緒に歌い始めました。初めての歌の声です。『すごいですね！上手ですね！』と褒めると、眉間にしわを寄せていた顔は血色が良くなり、ニコニコ笑顔になりました。

笑顔がなかった患者様に笑顔が出て、とても元気を頂いた瞬間です。そしてスタッフ皆で喜びを分かち合いました。



2階介護主任 岡田 佐知子

診もり短歌



く 知人なく戸惑う八十歳
住み慣れし東京離れこのまちに
なじめず悩む 八十寡婦 やもめ
Dr ねぎし

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい

よつば通信 8月号 涼

発行日 令和2年8月1日



デイケアわかば 夏のご挨拶

梅雨明けの日差しが待ち遠しい八月です。いかがお過ごしでしょうか？

コロナ禍の中でもデイケアわかばは、変わらずに運営しております。変わらずには言っても変わらないのは、いつものスタッフとご利用者様の笑顔。デイケアでの過ごし方は手洗いうがいの徹底、マスクの着用等、新型コロナウイルス予防に十分配慮した形で変更させていただいております。ご利用者様にはご不便をおかけすることもあるかと思えます。皆様がこれからも笑顔でご利用していただくための対策ですので、何卒ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。

ご利用者様は散歩の好きな方が多く、暑い日も畑や草花を見に外に出て行かれます。これからは、新型コロナウイルス対策だけでは無く、熱中症対策もかせません。ご利用者様の散歩に寄り添いながらも、水分補給をしっかりとしていきたいと思えます。おうちでも楽しく体を動かし、こまめな水分・ミネラル補給で夏を乗り切りましょう！カフェインが入っていない麦茶がおすすすめです。

デイケアわかば主任 竹内 規晃



外来案内

診療科目	月	火	水	木	金	土
午前 認知症外来	鈴木	安西	安西	鈴木	鈴木・安西 (隔週)	休診
	根岸		一木 (7/1, 7/15, 7/29のみ)			
一般内科	白濱					
午後(新患のみ)		鈴木		安西		休診

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～

- お電話での予約が必要になります
 - ・紹介状
 - ・お薬手帳をご持参ください。
- 予約時間の変更等につきましては、13時以降に外来にお電話下さい
○休診日○
土曜・日曜・祝日は休診になります

蓮田市 毎月第一土曜日 10:00~12:00
認知症カフェ
はすカフェ
蓮田よつば病院 1Fフロアにて実施

はすカフェは現在中止しております。



- 献立
- ・七夕そうめん
 - ・星形コロケ
 - ・胡瓜と春雨の梅サラダ
 - ・きな粉プリン
 - おやつ
 - ・七夕タルト



※写真は職員食になります

栄養価
エネルギー: 517kcal
たん白質: 18.2g
脂質: 13.2g 塩分: 6.1g
※行事食につき塩分が多めになっております

今月は七夕ということで、7月7日の行事食は天の川をイメージしたそうめん。星型の人参とおくらを散りばめました。副菜にも星型のコロッケ、おやつには星をデザインしたタルト。見て楽しめる献立で季節を感じていただけましたか？患者様に目でも楽しんでいただけるよう日々試行錯誤していきたいと思えます。

管理栄養士 水野俊

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話: 048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話: 048-796-5157

蓮田よつば病院
デイケアわかば



看護部の取り組み

看護研究発表

座位を強いている現状から脱却への試み

看護師: 齊藤礼美 金子広美 島田真史
介護士: 中村広毅 鈴木勝也 栗原淑子

認知症高齢者は、その進行に伴って、脳神経障害に関連した歩行障害、向精神薬の使用、焦燥・徘徊などの行動・心理行動(BPSD)といった、多様な要因が複雑に絡まって転倒しやすい。

Sさんは、不眠・昼夜逆転・徘徊・他室訪問が多い。入院後2年以上経過するが歩行は安定せず、少しぶつかりと転倒してしまうほど。早朝から日中のほとんどを椅子に座って過ごしていた。座位を強いている現状からの脱却を試みた。

I. 事例紹介 S氏 87歳 女性 診断名: アルツハイマー型認知症

・現病歴: H22.症状悪化し当院外来へ初受診。デイケアを利用
当初より不眠、昼夜逆転、徘徊が見られ、時折子供を探す様子があった。

H28.転倒、大腿骨頸部骨折 H29.7月から当院入院中

・生活歴: 4人の育児終了後、70歳まで働き続ける

II. 看護の実際

【看護上の問題点】

座位を強いられるストレスによるBPSDの悪化と筋力低下による転倒リスクの増大の悪循環

【看護目標】転倒することなく自由に歩けるよう環境調整し、より本人らしい生活を送る

【方法】

- 1) 午後1時30分から、徘徊に付き添う。(ヒッププロテクター着用)
自己紹介後に手をつなぎ歩行、安定してきたらフリーで歩行
- 2) 歩行終了時「ここがSさんの席ですよ」と声掛けし、座位を誘導する。
- 3) 歩行拒否の場合は、手作業をしてもらう(洗濯物たたみ)
- 4) 落ち着いて過ごすことが出来る一定の場所を決め、援助前と援助後でS氏の様子を記録した

【実施上の留意点】S氏は会話による意思の疎通が難しいため、援助者は理解が得られやすいような短文で、優しさが伝わるような声のトーンや笑顔の表情に留意した。

【実践結果】

- 1) 実践期間の大半をフリーで歩行。ふらつきや転倒はみられなかった。
- 2) 表情が豊かになった。スタッフの手を自ら引いてくれることがあった。
- 3) 実践期間中13日間は良眠され、早朝覚醒はなく、不眠・断眠は一日あった。
- 4) 他患とぶつからないように避けたり、配慮するようになった。
- 5) 他患への干渉することで、押されて転倒しそうになることがあった。

III. 考察

S氏の転倒のリスクは筋力低下や視野の狭窄や眠剤の半減期によるものと考えていた。実際は日中しっかり安定して歩行できており、転倒のリスクは低かったと考えられる。S氏の転倒の多くは、他患への干渉によるトラブルや自分の作業に集中してしまうとまわりが見えなくなってしまうことが大きな原因と考えた。それは、70歳まで仕事をされており、働き者で子供や他者への関わりが好きというこれまでの生活や性格の影響が大きい。現在は、言葉による意思の疎通が難しいため、他の入院患者には理解されず、嫌がられてしまう場面が多い。完全なフリーな歩行は実現できなかったが、座位を強いることなく、転倒することもなくよりS氏らしく生活することができるようになった。

患者様の生活背景などの個別性を理解し、気持ちに寄り添い、生活に変化を持たせることを心がけ「患者様のために、もっとできることはないか」という想いが大切だと気付くことができた。

引用文献

身体拘束予防ガイドライン 日本看護倫理学会 臨床倫理ガイドライン検討委員会

薬剤科からのお知らせ

～お薬との上手な付き合い方～

「薬は諸刃の剣だ」とよくいわれます。「クスリは逆から読めばリスクだ」ともいわれます。薬は人の病気を回復させ、命を救います。一方で誤った服薬をすることで薬の好ましくない作用がでることがあります。お薬は正しくつきあっていかなければならないものです。以下の点に注意してお薬と上手につきあいましょう。

1. お薬を服用する前に、薬袋に表示してある服薬量、服用時間、使用方法をよく確かめましょう。
2. お薬の中には、嚙んだり、潰したりして服用すると、薬の好ましくない作用が強くなったり、効果が落ちてしまったり、刺激がでるものがあります。
3. お薬によっては体質に合わない場合がありますので、ご本人、ご家族でアレルギー症状を起こしたことがある場合は事前に相談してください。
4. お薬によっては飲み合わせに注意しなければならないお薬があります。お薬手帳を活用して医師、薬剤師に飲み合わせを確認してもらいましょう
5. お薬の保管は直射日光や湿気を避けて、涼しい場所で保管しましょう。また小さなお子様の手の届かないところに保管しましょう。

薬剤科 阿部 圭吾

～よつば訪問看護リハビリステーション～

職員紹介

私はよつば病院の病棟で勤務しており、3月に訪問看護ステーションに異動しました。病棟では「家に帰りたい」と帰宅願望が強い患者様を何とかしてあげたいと日々考えていました。訪問看護でご自宅を訪問して「やっぱり家がいいわ」「来てくれてありがとう」と笑顔で言われる利用者様のなんと幸せそうな顔。利用者様以上に自分が喜び、やりがいを実感しています。病状等の問題はありますが、様々な社会資源を利用して住み慣れた場所で、より健康に暮らしていけるようお手伝いが出来たらと思っています。

よつば病院、デイケアわかばと連携して、地域包括ケアシステムの中の資源としてこの地域に貢献できるステーションを目指しその一員であることを喜べるような仕事をしていきます。

訪問看護リハビリステーション主査 渡部 千恵子

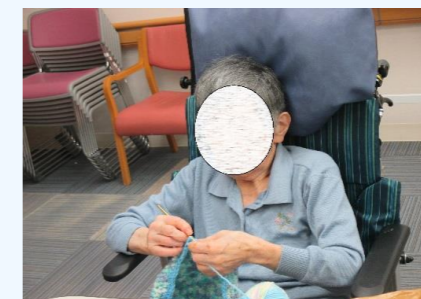


～よつば病院作業療法風景～

手工芸活動



編み物作業



今月の予定

- 誕生会 2階・3階病棟
随時おこないます
- 理美容 2階・3階病棟
第1・3木曜日

感染症対策のためはすカフェ、クラブ活動等を中止させていただきます。ご了承ください。